

第 1 回住民出資型太陽光導入方策検討会での宿題への回答について

1 意向調査の出資金と利率について

先進事例調査の「公共施設等への太陽光発電施設の設置可能性調査」の意向調査(アンケート)の報告で、「出資してもよいと考える利率は『0.25%未満』が約 20%、出資金については『100万円以上』とする回答が約 19%を占めていたことから、利率は低くても太陽光発電装置のための費用はある程度集まるものと推察される。」とあるが、クロス集計しないとこのような結論には至らないのではないかと。(渡邊委員)

集計結果から、出資金額は 5 万円超 10 万円以下が 52 人(44.4%)と最も多く、5 万円以下が 27 人(23.1%)、20 万円超 50 万円以下が 17 人(14.5%)と続いている。また、利率については、0.25%以下が 42 人(35.9%)と最も多く、次いで 0.25%超 0.5%以下が 18 人(15.4%)、0.5%超 1.0%以下が 17 人(14.5%)となっていた。

表 - 意向調査 希望する出資金額と利率

利率 \ 出資金	0.25 % 以下	0.5% 以下	1.0% 以下	1.5% 以下	2.0% 以下	3.0% 以下	5.0% 以下	5.0% 超	計
5 万円以下	9	6	3	1	1	2	3	2	27 (23.1%)
10 万円以下	26	10	5	0	2	6	1	2	52 (44.4%)
20 万円以下	2	0	1	1	0	0	1	0	5 (4.3%)
50 万円以下	2	1	4	0	3	2	3	2	17 (14.5%)
100 万円以下	2	1	4	0	1	0	1	3	12 (10.3%)
100 万円超	1	0	0	1	1	1	0	0	4 (3.4%)
計	42 (35.9%)	18 (15.4%)	17 (14.5%)	3 (2.6%)	8 (6.8%)	11 (9.4%)	9 (7.7%)	9 (7.7%)	117 (100.0%)

2 先進事例調査について

おひさま進歩エネルギー(株)の事業で、9年間月々定額 19,800 円の支払いとあるが、出力の大きさによらず定額と言うことか。(春名委員)

設置太陽光発電装置の大きさ(kw数)によって負担額は変わってくる。月額 19,800 円の定額負担は、1 ユニット 3.3kw の規模を想定したもの、規模が大きくなればイニシャルコストも高くなり、負担額も多くなる。(おひさま 0 円システム 2009 年度)

おひさま 0 円システム 2011 年度 2.5kw 14,200 円、3.3kw 18,200 円、4.4kw 21,900 円
(おひさま進歩エネルギー株式会社 原亮弘社長に電話でヒアリング)

3 先進事例での出資金募集について

事例(おひさま進歩エネルギー株)では、出資金が億単位で募集されているようだが、市民・住民への募集活動については書かれていないが、どういう募集方法でお金を集めているのか。
(磯崎委員)

ホームページからの募集、講演会の実施、チラシの配布などを、おひさま進歩エネルギー株が実施している。
(飯田市地球温暖化対策課 田中氏に電話でヒアリング)